

# JAL 被解雇者労働組合（JAL 争議団）

[info@jhu-wing.main.jp](mailto:info@jhu-wing.main.jp)
<https://jhu-wing.main.jp/>
**11月10日**
**東京都労働委員会（都労委）**

## 「新たな不当労働行為」申立て

### 2 労組と先行交渉！ 解決交渉でも JHU を差別扱い！

JAL は、解雇争議の解決案として、6月23日に乗員組合とキャビンクルーユニオンに対して「業務委託契約による職務の提供」を提案しました。2 労組はこの提案を受け入れ、7月29日に争議を終結しました。しかし、被解雇者労働組合（JHU）に対しては、2 週間も遅れた7月8日に始めて業務委託に係る説明資料を交付し、1 回目の交渉は、2 労組が事実上この提案を受け入れ、CCU が合意を決定した翌日の7月15日でした。

会社の JHU に対する 2 労組との差別は「中立保持義務違反」であるため、11月10日に都労委に不当労働行為救済の新たな申立てを行いました。



新たな不当労働行為の救済申立てを終え報告する JHU 組合員・弁護団・支援者

## 厚生労働省記者室で記者会見

（発言内容は次ページ）



## 山口委員長

JAL は 3 つの労働組合を対等公平に扱うべきです。今回新たな申立てをした。JHU は希望者の乗務復帰、12 年にわたる被害の補償を要求している。この点について回答がない。首を切られた人に、雇用によらない「業務委託」の提案は納得できない。自民党議員事務所から呼ばれ、あなた方の着地点はどこかと質問され、「滑走路です。今回の回答は滑走路の外です」と答えた。労働者の権利と空の安全を守る観点からモノをいう労働者の排除は認められない。

## 乗員争議団 斎藤事務局長

争議団に何の相談もなく、短期間で組合員資格を剥奪してまで行なった「業務委託」の提案、合意に納得できない。7 月 22 日の大会で争議終結が決議される前に 14 名が乗員組合を脱退し、争議の継続を決意した。JHU と共闘して、早期全面解決をめざして頑張る。

## 指宿弁護士

法的に解雇が有効と確定しても、会社も解決しなければならぬと考え交渉に応じてきた。整理解雇は労働者に非はなく、経営上の都合である。その状況が過ぎ去ったら元に戻せば良い。これを国際的ルールとして確立したのが ILO166 号勧告。問題は 2 労組と優先的に交渉して解決した、組合間差別をして低いレベルの提案をしてさっさと纏めてしまったこと。中立保持義務違反の不当労働行為である。労組法 7 条 3 号の支配介入の典型的な手口。本日救済を申し立てた。大きな組合が妥結して、この争議は終わるのではないかと見る方もいるかもしれないが、むしろ火が付いた。会社が禁じ手をやってしまったことで、今日からまた大きな争議が起きる。終結したければ、組合間差別を謝罪し、改めて JHU と真摯に向きあい真の解決を目指さなければならない。

## 加藤弁護士

JAL は人の命を預かる大企業であり、コンプライアンスを守ると公表し訴えている。労働者の権利・人権を守るといふのは、労働組合の権利を守るといふこと。JAL は過去に事故を起こし社会的責任が強く問われた企業。これまでも組合を差別し組合潰しをしてきたが、争議の解決という場面でも組合間差別をしている。今、企業の社会的責任が問われている。企業は労働者を尊重し、安心して働ける環境を作ることが社会的責任である。このことを社会に伝えていきたい。

## 鈴木副委員長

2010 年の解雇は組合差別の総仕上げと考えている。解決に向け闘っている人に対しても組合差別、分断を行なってきた。乗客の命を守る乗務員が、安全でないことを安全でないと会社にモノが言える職場環境を保障させなければ、安全運航を確保することはできない。組合差別はそれを阻害する要因となっている。解決要求に正面から向き合った協議をさせ、差別、不当労働行為を繰り返す体質を許さず改めさせるために申立てをした。



## 岡田弁護士

司法判断が全てではない。1970 年代三菱樹脂高野事件は最高裁で解雇は有効の判決。でも職場に戻った。JAL は労働組合が嫌い。労働委員会の命令が確定したのに従わず、制裁を受けた企業は大企業では JAL くらい。会社は JHU が企業内に存在していないという前提。株主総会で「社内 2 労組と解決に向けた方向で話が進んでいる」と発言。最初から JHU を外し、まともに話をする気がない。2 労組と決着がついた後で交渉を始めている。なぜ差別的な取り扱いをするのか。同時に提案したら、JHU はこの提案を厳しく指摘し、本質をついた意見が出された時、もっともだと思える人が出てくるのを恐れた。それを避けるために、JHU を無視して 2 労組と解決しようと決断した。JHU は 3 名から始まり今 32 名になっている。大きな闘いを展開させる分岐点として、更に運動を拡げて行ける。